

### \* 3学期がはじまりました \*

3学期はとても短い学期です。ハッと気付いたら時間が経っていた…ということのないよう、計画や目標を立て、しっかり取り組んでいきましょう。



### 【1月の移動図書館いるか号巡回日】 1月11日(木)

先月かりた本は、読み終わっていなくても全て返却しましょう。

《 3学期の巡回日 》

1月11日(木)・2月8日(木) 通常通りの貸出・返却  
3月7日(木) 全学年返却のみ



今年の干支は「辰」ですね。十二支で書く時は辰(たつ)と書きますが、他にも竜(たつ・りゅう)、龍(たつ・りゅう)の漢字があります。『辰』『竜』『龍』の意味は同じなのか、ちょっと気になったので図書室にある漢和辞典(三省堂漢和辞典第四版)で調べてみました。(以下抜粋)

『辰』・・・「十二支の第五番位。東南(方角)。午前八時、また同七時から九時」  
『竜』『龍』・「龍は正字」

「大きなへびのような形をした、角や鱗や鋭い爪をもち、淵に住み、天に上がり、雲をよび、雨をおこすという、想像上の動物」

「すぐれた人物のたとえ」

これには『辰』=『竜・龍』のような記述がなかったので、別の漢和辞典(小学館漢和辞典第7版)を調べてみました。前出の辞典で『辰』は「𠂔(がんだれ)」という部首のページに記載されていましたが、後出の辞典では「辰(たつ・しんのたつ)」という部首のページに記載されており、「動物では、竜」と説明がありました。

辰の部首・・・𠂔(がんだれ)、辰(たつ・しんのたつ)

竜・龍の部首・・・立(たつ・たつへん)、竜(りゅう・たつ)、龍(りゅう)

念のため更にもう一冊、別の漢和辞典(旺文社標準漢和辞典第五版)を調べてみました。三冊目にも『辰』には「動物では、竜」の一文がありました。調べをまとめると、『辰』は主に方角や時間を表すのに用いられ、『竜・龍』は想像上の動物を表すのに用いられる漢字でした。

何かを調べる時には、資料を複数読むことが大事です。今はインターネットで検索すると、すぐに調べることができます。けれどそれが「正しい」情報なのか判断が難しいところです。紙の本や辞書は重くて手間もかかりますが、著者や出版社、出版年月日をはっきりしているので安心して学ぶことができます。そして苦労した分、記憶に残りやすいのでおすすめします！